

令和6年度災害支援コーディネーター養成研修 ～ 中級編 ～ 開催要綱

近年全国各地で自然災害が多発し、その規模も広域化、甚大化しています。そのたびに多くのボランティアが被災地に駆けつけ支援活動を行うなど、災害ボランティア活動が被災者支援の中核を担っています。

これらボランティアの力を支援に活かすため、内閣府から「防災における行政のNPO・ボランティア等との連携・協働ガイドブック～三者連携を目指して～」が示され、平時から災害に備えた体制整備と災害時の効率的・効果的な支援活動の推進が求められています。

本研修は、災害時に開設される“災害ボランティアセンター”の意義と役割を理解し、災害ボランティア活動が円滑に行われるよう、社会福祉協議会、行政、NPO、JCなどの関係団体との連携・協働のもと被災者支援活動を実践できる人材を養成することを目的に開催します。

【研修日程】

日 程 ・ 会 場	受講対象	定員
令和7年1月16日(木) ～ 令和7年1月17日(金) ▶新潟ユニゾンプラザ 4階「大会議室」	「初級」受講修了者又は被災地支援活動の経験がある方。また、災害ボランティアセンターの運営又は運営支援、そのほか、行政等との連携のもと復旧・復興支援活動等を進める役割にある方。	30名 (定員になり次第 締切ます。)

※研修プログラムは別紙のとおりです。

受講料

3,000円(2日間)

※1日受講の場合でも同額です。

研修会当日、受付時に現金にてお支払いください。

お釣りのないよう、予めご準備をお願いいたします。

お申込み方法

下記のURL又は二次元コードからお申込みください。

【申込期限: 令和7年1月7日(火)】

URL: <https://tinyurl.com/eysxnuer>



お問い合わせ先

新潟県社会福祉協議会 地域福祉課

TEL: 025-281-5521

メール: chiiki@fukushiniigata.or.jp

【主催】新潟県災害ボランティア調整会議・新潟県社会福祉協議会

個人情報の取扱いについて

- (1) 「参加申込・エントリーシート」に記載された個人情報は、本研修会の運営にかかる目的にのみ使用し、他の目的で使用することはありません。
- (2) 本研修会の参加申込受付を通じて取得した参加申込者皆さまの個人情報は、新潟県災害ボランティア調整会議事務局である新潟県社会福祉協議会が定めるプライバシーポリシー(個人情報の保護に関する方針)に基づき取り扱います。
- (3) 参加申込者の同意なしに他の事業者など第三者に個人の情報は提供いたしません。
- (4) 取得した個人情報データについては、適切な管理を行います。
- (5) 本研修会では「参加者名簿」を作成し、研修参加者に配布いたします。また、「エントリーシート」は受講者や講師とのネットワーク作り等のため、とりまとめの上、研修参加者に配布いたします。

令和6年度災害支援コーディネーター養成研修プログラム（中級編）

【中級研修の対象者・目的】

対象者	社協職員、行政職員、JC 会員、NPO 職員等で、「初級編」の受講歴を有している方、または被災地支援活動の経験がある方。また、災害時において災害 V C の運営又は運営支援、そのほか、行政等との連携のもと復旧・復興支援活動等を進める役割にある方。
目指すところ	“連携”を中心に、中長期で被災地全体を見渡せる視野を持てるようにネットワーク、組織といった部分を含みながら、コーディネーターとしての立ち位置を理解する。 <人材像> ◆災害 VC 全体を統括、調整できる知識と技術を有し、他団体等の外部資源と連携・協働を図りながら円滑な災害 VC 運営ができる。 ◆災害 VC の設置・閉鎖（転換）及び特異な事象にも、総合的かつ冷静に判断できる。 ◆ NPO や行政など災害 VC 等との連携協働を図りながら災害支援活動を計画・実施できる。 ◆復旧から復興に向けて長期的な視点を持ち、支援活動を行うことができる。

★★★ 日 程 ★★★

▼1日目 1/16 (木) 新潟ユニゾンプラザ4階 大会議室

タイムテーブル	テーマ及び担当講師
10:00～10:05	開会・オリエンテーション
10:05～10:15 (10 分)	「中級研修のねらい」 目指す人材像、災害 V C や避難所といった様々なフィールド、或いは災害時の各フェーズにおける運営支援者の役割を果たすためにこの研修でどんなことを学ぶのかを共有します。 ▶講師：企画運営委員 【座学】
10:15～11:05 (50 分)	「災害ボランティアセンターにおける人・物・資金」 災害 V C の運営を支える人・物・資金の仕組みについて共有します。 ▶講師：渡邊 貴浩（新潟県社会福祉協議会 福祉人材課主任） 【座学】
11:05～11:10	休憩（5 分）
11:10～12:10 (60 分)	「災害支援におけるメンタルケアについて」 緊張感が高く、膨大な業務に携わる災害 VC スタッフや応援職員の心のケアについて、セルフケアや周りからのサポートについて考えます。 ▶講師：関 真由美（日本赤十字社医療センターメンタルヘルス(精神)科 公認心理師・臨床心理士） 【座学】
12:10～13:10	昼食休憩（60 分）
13:10～14:50 (100 分)	「多様なセクターとの連携の必要性和支援者に求められること」 市町村域、県域における平時及び災害時の多様なセクターとの連携・協働について理解し、円滑な支援活動を推進するために必要なコーディネーターの役割について考えます。 ※途中休憩あり ▶講師：李 仁鉄（にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長） 【座学】
14:50～15:00	休憩（10 分）
15:00～16:00 (60 分)	「被災地支援活動における危機管理」 被災地域での支援活動上の危機管理や安全衛生、留意点などを理解します。 ▶講師：丸山 嘉一（日本赤十字社医療センター 国内・国際医療救護部長） 【座学】
16:00	事務局連絡

▼2日目 1/17 (金) 新潟ユニゾンプラザ4階 大会議室

タイムテーブル	テーマ及び担当講師
10:00～10:10 (10分)	「1日目の振り返り」 1日目の内容を振り返り、共有します。 ▶講師：企画運営委員
10:10～12:00 (110分) ※途中休憩あり	「災害ボランティアセンターを支える連携の実践について」 災害VCの運営や被災地活動を支える多様なつながりによる連携・協働を考えます。 ▶パネリスト：平田 達哉（関川村社会福祉協議会 地域福祉係長） 大塩 さやか（ピースポート災害支援センター スタッフ） 川島 浩義（災害救援レスキューアシスト） ▶コーディネーター：野村 卓也（中越防災安全推進機構 コーディネーター） 清川 祐介（新潟県社会福祉協議会 地域福祉課主任） 【パネルディスカッション】
12:00～13:00	昼食休憩（60分）
13:00～14:00 (60分)	「災害ボランティアセンターにおけるIT活用について」 災害ボランティアセンターにおけるIT化の現状、ITや情報の活用によるボランティアや被災者支援活動の効果的推進等について考えます。 ▶講師：李 仁鉄（にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長） 【座学】
14:00～14:05	休憩（5分）
14:05～16:35 (150分)	「事例検討」 災害ボランティアセンターの運営に際し、実際起こり得る課題についてワークを行いながら、その解決方法や対応について考えます。 ▶講師：井上 卓（日本赤十字新潟県支部 救護・講習係長） 大井 麻未（新潟青陵大学 ボランティアコーディネーター） 風間 俊哉（新潟市社会福祉協議会 こども家庭支援係主査） 新保 絵梨（くびき野NPOサポートセンター 主任） 平田 達哉（関川村社会福祉協議会 地域福祉係長） 野澤 圭（新潟県 総務部県民生活課主事） 野村 卓也（中越防災安全推進機構 コーディネーター） 【ワーク】
16:35～16:50 (15分)	「中級2日間の振り返り」 中級研修全体の振り返り、そのほか質疑応答を行います。 ▶コメンテーター：李 仁鉄（にいがた災害ボランティアネットワーク 理事長） 【座学】

※プログラムは一部変更になる場合がございます。